

部 局	都市活力部	補 職	部 長	氏 名	上原 忠
-----	-------	-----	-----	-----	------

1. 部局の使命

「暮らしの舞台として選ばれるまちにする」
 定住・関係・交流人口の獲得に向けて、住まいに加え仕事や活動、学びや憩いなど、本市が「暮らしの舞台」として、市内外の多くの方々から支持され、選ばれるまちになるため、地域や民間との連携を強化しながら、体系的・総合的に施策を展開します。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針 取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>○次の3点を基本姿勢として、下記1～6の取り組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の地域資源と潜在力（交通インフラ、文化、スポーツ、産業資源等）を活かします。 ・多様な主体と連携し、ヒト・モノ・コトの交流、集積を促します。 ・新たな発見と価値を暮らしに提案し、分かりやすく伝えます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊中の魅力の創出と発信 <ul style="list-style-type: none"> ・第2期豊中ブランド戦略に基づき、本市の持つ可能性と強みを最大限に引き出し、豊中ならではの魅力を創出・発信する取り組みを実践します。 2. 人と文化を育む創造性あふれるまちの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術推進基本計画に基づき、多様な主体との連携のもと、市民の文化芸術の振興とともに、文化芸術の力をまちづくりに活かす取り組みを進めます。 3. スポーツに親しむ機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・第2期スポーツ推進計画に基づき、子どもたちをはじめ、市民のスポーツへの興味・関心を高め、親しむ機会の充実を図ります。 4. 大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進と環境・安全対策の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・空港周辺環境対策の充実を図るとともに、空港機能の利活用促進に取り組みます。 5. 産業のあるまちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・安定した操業環境を整え、新たなチャレンジを支援するなど、中小企業の産業振興に係る取り組みを推進します。 6. 都市農業の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・都市農業振興基本計画に基づき、都市農地の保全と活用を図る取り組みを展開します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 豊中の魅力の創出と発信 <ul style="list-style-type: none"> ・市内各所でのストリートピアノコンサートや東西軸エリアでの「マチなかコンチェルン」（音楽事業）、とよなかアートブリッジ（美術事業）など、積極的に本市の新たな魅力の創出と発信を図りました。 2. 人と文化を育む創造性あふれるまちの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・0歳からのコンサートを拡充するほか、音楽月間事業やホールでオーケストラなどの事業を実施し、子どもたちをはじめ市民が文化芸術に触れる機会の充実に取り組みました。 3. スポーツに親しむ機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・マルチスポーツ体験教室やグリスポピア2023の開催、小学生の体育施設個人使用料無償化など、子どもたちがスポーツに触れ、親しむ機会の充実を図りました。 4. 大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進と環境・安全対策の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな友好都市協定の締結やふるさと納税返礼品となる空港見学ツアーを実施しました。また、原田緑地整備・管理運営事業を実施する事業者を選定し、基本設計に着手するとともに、千里川土手の整備に向けて、かわまちづくり計画を策定しました。 5. 産業のあるまちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の好循環を図るため、プレミアム付デジタル商品券事業や新・産業振興ビジョンに基づく各種支援施策を実施し、市内事業者の事業活動の支えに取り組みました。 6. 都市農業の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・市民農業体験や市民農園の実施など、市民が農業に触れる機会などの取り組みを行いました。

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>豊中の魅力の創造と発信</p> <p>第2期豊中ブランド戦略に基づき、次の視点を大切にしながら、取組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な人がつながり、新たな視点が生まれる出会いや交流、学びの機会の充実を図ります。 ・新たな試みを許容する、多様で寛容なまちの雰囲気づくりをめざします。 ・多様な媒体の活用とともに、”人から人へ”の発信を大切にします。 <p>(1) 大阪・関西万博の取組み【重点】 バーチャル大阪と連動したメタバースを創設し、本市の魅力を紹介します。リアルと連動させたイベントを展開します。</p> <p>(2) 東西軸の活性化【重点】 東西軸活性化アクションプランに基づき、沿道の往来増加等につながる取組みを展開します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①まちなか音楽事業 (5月～) ②電柱アート (5月～) ③まちなかアート事業 (10月～) <p>(3) まちの魅力・価値を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ①とよなか創造界隈アートプロジェクト (野点6月～11月) ②ストリートピアノプロジェクト (通年) ③沖縄市交流事業 (7月、1月) ④姉妹都市提携60周年記念事業 (10月) ⑤高校生軽音楽フェスティバル (11月) ⑥豊南市場サウンドステーションの活用 (年3回) ⑦助成金制度を活用した市民活動の取組支援 (通年) (魅力アップ助成金・まちづくりにぎわいづくり事業助成金) ⑧豊中駅前魅力発信事業 (10月～) ⑨デジタルアート推進事業 (11月) <p>(4) まちの魅力・価値を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ①インスタグラムの活用 (通年) <p>(5) 第3期豊中ブランド戦略の策定</p>	<p>(1) 大阪・関西万博の取組み ・共創パートナーとして桜塚高校軽音楽部等を支援。 ・万博関連イベントにブース出展し、市の魅力発信・PRを実施</p> <p>(2) 東西軸の活性化</p> <p>①音楽事業 (6回) ②電柱アート (9～10月) ③アート事業 (9～11月)</p> <p>(3) まちの魅力・価値を高める</p> <p>①野点 まちあるき6回、野点2回。参加者のべ322人</p> <p>②とよなかピアノ コンサート14回 (参加者1,330人)、イベント1回 (参加者65人)、インスタグラム (3/27現在フォロワー6,459)</p> <p>③兄弟都市 沖縄産業まつり参加</p> <p>④姉妹都市 60周年記念事業 (サンマテオ市民40人来豊) 親善使節選考会開催 (出場者7人)</p> <p>⑤軽音フェス (8校13バンド参加)</p> <p>⑥豊南市場サウンドステーション (共催3回)</p> <p>⑦助成金 (交付団体: 魅力アップ8団体、にぎわい14団体)</p> <p>⑧魅力文化施設をオープン (11月～)</p> <p>⑨デジタルアート推進事業 (来場者408人)</p> <p>(4) まちの魅力・価値を伝える</p> <p>①インスタグラムの活用 (3/27現在フォロワー6,459)</p> <p>(5) 第3期豊中ブランド戦略 令和6年(2024年)3月策定</p>	<p>令和5年度(2023年度)に策定した第3期豊中ブランド戦略に基づき、一人ひとりが自分らしく暮らすことのできる、「住み続けたい」「住んでみたい」まちになるよう取組みを進めていきます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>4-2- (1) 都市の魅力と文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます</p>		
<p>基本政策</p>			
	57 まちの魅力アップ	30	東西軸(緑地公園駅周辺～曽根駅周辺～大阪国際空港周辺)の活性化

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	人と文化を育む創造性あふれるまちの推進 文化芸術推進基本計画に基づき、多様な主体との連携により次の取組みを進め、アーティストや参加者とのつながりを深めながら、創造性あふれるまちづくりを進めます。 (1) 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進 ①世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭(11月～2月) ②豊中まつり(8月) (2) 人材の育成と文化芸術活動の支援 ①小・中学生舞台芸術体験事業「ホールでオーケストラ」(1月・2月) ②こども園へのアーティスト派遣(10月～、年間8回程度) ③0歳からの親子コンサート(7月) ④文化芸術振興助成金(通年) (3) 音楽あふれるまちづくりの推進 ①とよなか音楽月間(10月～1月) (4) 地域資源の活用と発信 ①市所蔵作品展(6月) ②市内事業者への市所蔵作品の貸出(6月～) ③美術展・文芸祭(11月) (5) 文化芸術環境の充実 ①ローズ文化ホール特定天井等改修工事(11月～)	(1) ①世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭 2/3実施。参加者53人。音楽祭(会場:大阪音楽大学ミレニウムホール)入場者71人 ②豊中まつり 入場者数約17万3千人 ホームページアクセス約20万件 (2) ①ホールでオーケストラ 小学校36校3,201人、中学校12校1,796人 ②こども園へのアーティスト派遣(年間10回) ③0歳からのコンサート 参加者339人 ④文化芸術振興助成金(11団体) (3) ①とよなか音楽月間事業 64事業、全参加者19,370人 (4) ①「美術と風土 アーティストが触れた伊那谷展」開催(入場者1,137人) 大阪大学総合学術博物館との連携事業「豊中市所蔵 京・大阪 日本絵画の精華」展を開催しました。 ②指定管理者(4月、8月)、萩の寺(9月)へ貸出を行いました。 ③美術展・文芸祭開催 (5) ①ローズ文化ホール特定天井等改修工事 令和6年(2024年)1月から工事開始	より様々なジャンルを活用することにより、子どもたちをはじめ多くの人々の文化芸術への興味関心を喚起し、実際に触れる機会の拡充を図ります。
	総合計画		
4-2- (1)	都市の魅力と文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます		
基本政策			
53	文化芸術を活かしたまちづくり		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>スポーツに親しむ機会の充実</p> <p>第2期スポーツ推進計画に基づき、以下の取組を進めます。</p> <p>(1) すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実</p> <p>①マルチスポーツ(様々な競技スポーツ)体験教室の実施(7月～、市内4体育館で各年間8回程度)</p> <p>②運動部活動の地域移行(通年)</p> <p>③ラジオ体操やウォーキングの推進(ラジオ体操:通年、ウォーキング10月、3月)</p> <p>(2) スポーツを活かした魅力あるまちづくり</p> <p>①グリスポピア2023(月1回程度、メインイベントは10月 グリーンスポーツセンターを拠点としたスポーツとアートの祭典)</p> <p>(3) 体育連盟加盟団体の各競技以外の種目に対する助成制度の構築</p> <p>(4) 施設の機能更新等</p> <p>①豊島ローズ球場改修工事(11月～令和6年(2024年)11月末)</p> <p>②庄内体育館空調設置等改修工事(11月～令和6年(2024年)11月末)</p> <p>(5) 学校跡地の暫定利用</p> <p>学校跡地利用が決まるまでの間、地域スポーツを振興するため、施設を管理し、体育館及び運動場を地域に開放するなど利活用を図ります。</p> <p>①旧島田小学校</p> <p>②旧野田庄内小学校</p> <p>③旧さくら学園中学校</p>	<p>(1) 全ての市民がスポーツに親しむ機会の充実</p> <p>①マルチスポーツ体験教室</p> <p>4大学協力のもと、武庫川女子(参加54人)・大阪成蹊(85人)・立命館(58人)・流通科学(43人)各8回。参加者は合計240人</p> <p>②ラグビーユニオンの協力を得てラグビー部合同部活動への指導者派遣や体験会を実施</p> <p>③トライウォーキング</p> <p>10月:8人、3月:28人(2回実施)</p> <p>(2) スポーツを活かした魅力あるまちづくり</p> <p>①グリスポピア2023</p> <p>豊中クルーズ、サイエンスラボ、グリスポ超楽しみMAX、縄跳びイベント等を実施</p> <p>(3) アーバンスポーツ推進助成制度を構築。令和6年(2024年)4月より公募</p> <p>(4) 体育施設の機能更新等</p> <p>①豊中ローズ球場改修工事</p> <p>令和5年(2023年)11月:工事着工、令和6年(2024年)12月:利用可能</p> <p>②庄内体育館空調設置等改修工事</p> <p>令和6年(2024年)1月:工事着工、令和7年(2025年)3月:利用可能</p> <p>(5) 学校跡地の暫定利用</p> <p>従来の学校校庭開放事業に準じた形で開放するとともに、施設の維持管理を実施</p>	<p>第2期スポーツ推進計画に基づき、同計画が掲げる施策の着実な遂行を図ります。</p>
	<p>総合計画</p> <p>4-2- (3) スポーツにふれる機会の創出とスポーツ施設の環境整備を進めます</p>		
基本政策			
52	スポーツを活かしたまちづくり		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進と環境・安全対策の充実</p> <p>(1) 航空機騒音に対する空港周辺環境対策 ①低騒音機材の導入促進や遅延便対策、空気調和機器更新工事助成等の充実・継続等について、国土交通省はじめ関係機関等への働きかけ(8月) ②遅延便取り扱いのルール化について豊中航空機公害対策連合協議会と空港関係機関との共通理解の形成を進めます。 (2) 空港機能の利活用促進 ①都市間交流の促進(通年) ②国内長距離便の便数制限緩和等を関係機関に要望(8月) ③空港ターミナルビルの集客促進、空港関連のふるさと納税返礼品のPR促進(通年) (3) 空港周辺地域整備 空港に隣接する千里川と原田緑地を飛行機が間近に見える公園として一体的に整備し、地域の魅力向上と賑わいづくりを進めます。 ①飛行機が間近に見える公園の整備に向けた整備・管理運営事業者選定(12月議会) ②千里川土手の整備・利活用について、関係機関と具体化を進めます。(通年) ③共同利用施設の今後の更新・設備充実・管理運営の方針について、地元管理運営委員会への説明・意見交換を進め、具体化を進めます。(通年)</p>	<p>(1) 航空機騒音に対する空港周辺環境対策 ①国土交通省はじめ関係機関等への働きかけ(8月)→空調更新工事助成制度の一人世帯への適用など ②遅延便取り扱いのルール化(8月)→空港運営者等による遅延便対策に関するワーキンググループが発足 (2) 空港機能の利活用促進 ①都市間交流の促進 →クラダシチャレンジ(9月、3月)、旭川市と友好都市協定の締結(11月) ②国内長距離便の便数制限緩和等を要望(8月) ③空港ターミナルビルの集客促進、空港関連のふるさと納税返礼品のPR促進 →JALと連携したふるさと納税返礼品(空港見学ツアー)を設定(3回) (3) 空港周辺地域整備 ①原田緑地整備・管理運営事業を実施する事業者を選定、基本協定や設計・建設工事請負契約の締結、指定管理者の指定、基本設計に着手(1月) ②千里川土手の整備に向けて、かわまちづくり計画を策定(3月) ③地域コミュニティ拠点施設の再整備に向けた庁内での検討会議、野田センターの再編に向けた地元説明(1月)</p>	<p>○空港関係機関に実効性ある遅延便抑制策の打ち出しとその着実な遂行を迫ります。あわせて遅延便の取り扱いのルール化について地元や関係機関との協議を継続します。 ○都市間交流について、大阪国際空港就航都市事務担当者会議等を通じて連携を密にし、様々な交流事業を進めます。 ○原田緑地及び千里川土手の整備を着実に進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>3-1- (3) 環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます</p>	<p>3-4- (3) まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます</p>	
	<p>基本政策</p> <p>51 空港を活かしたまちづくり</p>		

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	
		課題・今後の方向性		
5	産業の集積をつくる		<p>(1) 重点エリア拡大に向けた調査・重点エリア拡大に向け、住宅の立地がない複数のエリアにおいて、地権者情報の調査を行いました。その結果を踏まえ、地権者数が少なく比較的交渉が進めやすそうなエリアを選定するなど、重点エリア拡大の優先度の高い候補地の選定を行いました。</p> <p>(2) 企業立地対象エリア・業種の拡大の検討</p> <p>・千里中央地区における商業機能やオフィス等の誘導を促す施策立案のために、オフィスビル建設やオフィス賃料に対する補助金の他市事例等の調査研究を行いました。</p>	
	<p>新・産業振興ビジョンに基づき、下記の取組みを推進します。</p> <p>(1) 重点エリア拡大に向けた調査(通年) 産業誘導区域への企業立地の取組みを推進するため、重点エリアの拡大に向けた検討、調整を進めます。</p> <p>(2) 企業立地対象エリア・業種の拡大の検討(3月末) 多様な都市機能の誘導を図るため、商業地域等において、ホテルや本社機能等の立地を促す仕組み・制度設計に向けた調査検討を行います。</p>			
総合計画				
3-5-	(1)	地域産業を支援し、投資・消費・働く場が活性化するための体制をつくります		
基本政策				
54	産業誘導区域の集積推進		55	域内産業の活性化

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	<p>地域経済の好循環をつくる</p> <p>新・産業振興ビジョンに基づき、下記の取組みを推進します。</p> <p>(1) 地域経済の好循環を生み出す取組みの推進</p> <p>① マチカネポイント事業の拡充(チャージ機能の実装、民間資金を活用したマチカネポイントの付与 6月～)【重点】</p> <p>② 売上アップ応援金(通年)</p> <p>③ 商品高付加価値化応援金(通年)</p> <p>④ ものづくり人材育成支援補助金(通年)</p> <p>⑤ 展示会等出展支援補助金(通年)</p> <p>⑥ ITコンシェルジュ派遣・IT化促進補助金(通年)</p> <p>⑦ チャレンジ事業補助金拡充(人材確保環境整備費等)(4月)</p> <p>⑧ 人材確保促進補助金(通年)</p> <p>(2) スタートアップ企業等への支援の充実</p> <p>① 起業・チャレンジセンターの充実(子どもアントレプレナー事業、土業による相談事業など 通年)</p> <p>② スタートアップ企業の交流の場づくり(下半期)</p> <p>③ スタートアップ企業等への支援に取り組んでいる関係機関との連携やスタートアップ支援の実績を有する民間業者への委託等により取組みを進めます。</p> <p>(3) 民間企業の災害対応支援(通年)</p> <p>「事業継続力強化支援計画」に基づき、商工会議所と連携し、セミナー開催や専門家派遣などを通して、小規模事業者等へのBCP策定を支援します。</p>	<p>(1) 地域経済の好循環を生み出す取組みの推進</p> <p>① チャージ機能実装(7月) チャージ約2億7千500万円、民間資金によるポイント付与約16万円、デジタルクーポン発行者数:14者、プレミアム付デジタル商品券16億8千万円+子育て応援ポイント付与1億5千万円</p> <p>② 52件(売上34件、賑わい18件)</p> <p>③ 24件</p> <p>④ 4件</p> <p>⑤ 32件</p> <p>⑥ 派遣240回、補助金32件</p> <p>⑦ 8件(チャレンジ4件、コミュニティ0件、スタートアップ4件)</p> <p>⑧ 23件</p> <p>⑨ 学校跡地活用した産業振興施設運営事業者公募(2月)</p> <p>(2) スタートアップ企業等への支援の充実</p> <p>① 大阪北部コミュニティカレッジ(ONCC)子ども起業体験スクール事業のキッズモール(ONCC主催)の共催、土業等によるセミナー12回、経営・起業相談333件</p> <p>② 起業支援講座6回。講座後に参加者交流機会を提供。</p> <p>③ スタートアップ創出に向けた若年層向けアントレプレナーシップ養成講座5回</p> <p>(3) 民間企業の災害対応支援</p> <p>・商工会議所と連携し、セミナー1回開催</p>	<p>○マチカネポイントアプリのセキュリティ向上を図るため、クレジットカードチャージについて、令和6年度(2024年度)は住民基本台帳との照合がとれた豊中市民限定で実施します。</p> <p>○マチカネポイントのさらなる利用促進を図るため、新たに決済ポイント還元事業(プレミアム率20%)を実施します。</p> <p>○市内事業者による子育て支援サービスの創出を促すため、チャレンジ事業補助金に「子育て支援サービス事業創出枠」を新設します。</p> <p>○人材確保促進補助金の対象経費に副業人材等の業務委託費を追加するなど、制度の充実を図ります。</p>
	<p>総合計画</p> <p>3-5- (1) 地域産業を支援し、投資・消費・働く場が活性化するための体制をつくります</p>		
基本政策			
21	民間企業の災害対応支援	50	デジタル地域ポイントの導入
56	スタートアップ企業等への支援の充実		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	都市農業の振興	<p>(1) 市民農業体験事業</p> <p>①サツマイモ栽培体験 (5月～10月) 参加者 大人35人、子ども28人</p> <p>②たまねぎ栽培体験 (10月～3月) 参加者 大人42人、子ども17人</p> <p>(2) 地産地消の一層の推進</p> <p>①地元農産物を使用した学校給食用のコロッケを地元事業者に製造してもらいました。</p> <p>②市内公共施設や農協等で定期的に朝市を実施しました。(9カ所)</p> <p>③豊中まつりや農業祭などイベントにおいて地元農産物の即売会を実施しました。</p> <p>④学校給食用の食材(たまねぎや青ねぎ)に地元農産物を活用しました。</p>	<p>(1) 都市農業振興基本計画において市内3カ所での実施を目標としているため、新たな実施場所の開設を模索するとともに、利用者が本事業の利用後に継続的に農業に関われるよう取り組みます。</p> <p>(2) 農家の生産意欲が高まるよう引き続き様々な機会をとらえて地元農産物が消費される朝市等の取組みを進めるとともに、事業者に地元農産物を使用してもらえるような取組みを進めます。</p>
	都市農業振興基本計画の基づく取組みの推進		
総合計画			
	3-1- (2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる取組みを進めます		
基本政策			
	59 地産地消の推進		

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
8	<p>人づくり・組織づくり</p> <p>都市活力部の使命を遂行するため、取組み方針を実践できる職員を育成し、組織としての仕事の質・成果の向上につなげます。 そのために必要な育成に係る基本的な方針は次のとおり (1) 実践を通して、知識、経験を獲得します。 ①規模に関わらず、様々な事業や取組みを企画し、職員の実践の場を確保します。 ②トライアルアンドエラーの繰り返しの中から、必要な知識やネットワーク、経験を蓄積します。 ③それらは記録に残すなど、ノウハウの「見える化」を図ります。 (2) ミーティングを通して、その知識・経験を共有します。</p>		<p>様々な事業運営の実践を通して、業務に必要な知識や経験を積むことができました。 進捗状況などを含め、事業に関する情報はメッセージ機能等を活用して共有化を図りました。</p>	<p>○引き続き、実践を通して、知識、経験を獲得しながら、その共有化等を通して、人材の育成に努めます。</p>
	総合計画			
	5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策				
	65	職員力を高める人材育成等の推進		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>豊中の魅力の創造と発信</p> <p>(1) 第2期豊中ブランド戦略に基づく取組みの推進 様々な出会いや交流、学びの機会を通して、仲間や地域とともに、一人ひとりが自分らしい暮らしを育み、創造できるまちの実現を通して、「暮らしの舞台」として本市が選ばれることをめざします。 (主な目標値) ①今後も住み続けたいと思う市民の割合：令和元年：85%⇒85%以上を維持(令和5年) (令和3年86.5%) ②社会増加数6,144人(平成28年～令和元年) ⇒増加(令和2年～令和5年)(令和2年～令和3年は1,639人) ③関係人口(リーディング事業参加者のうち市外関係者の割合) 令和2年：217人⇒増加(令和5年) ④魅力発信サイトアクセス数72,912件(令和元年)⇒150,000件(令和5年)(令和2年118,465件) ⑤東西バスの年間乗降客数⑥東西軸内のシェアサイクルスポットの利用台数⑦曽根駅、緑地公園駅の年間鉄道乗降者数</p>	<p>○継続して実施</p> <p>○令和5年度(2023年度)</p> <p>①姉妹都市交流60周年記念事業</p> <p>②アクションプランに基づき、東西軸周辺で賑わいづくり事業を展開(～令和7年度(2025年度))</p> <p>③第3期豊中ブランド戦略の策定</p> <p>④関西万博プレ事業</p> <p>○令和6年度(2024年度)</p> <p>①兄弟都市交流50周年記念事業</p> <p>②関西万博プレ事業</p> <p>○令和7年度(2025年度)</p> <p>①関西万博事業</p>
	<p>総合計画</p> <p>4-2- (1) 都市の魅力と文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます</p>	
	<p>基本政策</p> <p>57 まちの魅力アップ</p> <p>30 東西軸(緑地公園駅周辺～曽根駅周辺～大阪国際空港周辺)の活性化</p>	
	<p>総合計画</p> <p>4-2- (1) 都市の魅力と文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます</p>	
2	<p>市民の文化芸術の振興</p> <p>文化芸術推進基本計画に基づく取組みの推進 同計画に基づき、具体的施策を総合的に展開し、人と文化をはぐくむ創造性あふれるまち豊中の実現をめざします。そのために以下の点を重視し、取組みを進めます ①住宅都市・豊中の歴史や価値が息づく地域資源の積極的な活用 ②多様な主体との連携により、様々な分野に文化芸術を活かす ③次代を担う子どもたちへの積極的なアプローチ ④文化芸術センターを活用した取組みの推進 (主な目標値) ①本市を文化的なまちと思う市民の割合 令和元年58.6% ⇒ 令和9年：増加(令和3年：64.2%) ②文化芸術センター(ホール)利用率 令和2年：84% ⇒ 令和9年：85%</p>	<p>○継続して実施</p> <p>○令和5年度(2023年度)</p> <p>①ローズ文化ホール特定天井等改修工事</p> <p>○令和6年度(2024年度)</p> <p>①ローズ文化ホール特定天井改修工事竣工(令和6年(2024年)10月末ごろ)</p>
	<p>総合計画</p> <p>4-2- (1) 都市の魅力と文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます</p>	
	<p>基本政策</p> <p>53 文化芸術を活かしたまちづくり</p>	
	<p>総合計画</p> <p>4-2- (1) 都市の魅力と文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます</p>	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	<p>第2期スポーツ推進計画に基づく取組みの推進</p> <p>(1) 第2期計画に基づき、市民のスポーツ振興にむけた様々な事業を展開します。</p> <p>(2) 豊中ローズ球場の改修をはじめ、計画的に施設の機能更新等を準備・実施します。</p> <p>(3) 学校跡地の暫定利用 学校跡地利用が決まるまでの間、地域スポーツを振興するため、施設を管理し、体育館及び運動場を地域に開放するなど利活用を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧島田小学校 ・旧野田庄内小学校 ・旧さくら学園中学校 <p>(主な目標)</p>	<p>○継続して実施</p> <p>○令和5年度(2023年度)</p> <p>◀工事等▶</p> <ul style="list-style-type: none"> *豊中ローズ球場改修工事 *庄内体育館空調設置工事 <p>◀学校跡地管理▶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧島田小学校 ・旧野田庄内小学校 ・旧さくら学園中学校 <p>○令和6年度(2024年度)</p> <p>◀工事等▶</p> <ul style="list-style-type: none"> *豊中ローズ球場改修工事竣工(R6年10月末ごろ) *庄内体育館空調設置工事竣工(R6年10末ころ) <p>◀学校跡地管理▶</p>
	総合計画	
	4-2- (3) スポーツにふれる機会の創出とスポーツ施設の環境整備を進めます	
	基本政策	
52	スポーツを活かしたまちづくり	
4	<p>空港を活かしたまちづくりの推進と環境・安全対策の充実</p> <p>(1) 千里川と原田緑地を飛行機が間近に見える公園として一体的に整備し、地域の魅力向上と賑わいづくりにつなげます。原田緑地について、右記スケジュールに沿って着実に進め、令和7年度(2025年度)の一部竣工(8月)をめざします。</p> <p>(2) 遅延便等について、取扱いのルール化を図り、地元や関係機関との合意形成につなげます。</p> <p>(3) 就航都市との交流を継続し、交流先の拡大や市民レベルでの交流等につなげます。</p>	<p>○令和5年度(2023年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①整備・管理運営事業者決定 ②整備基本設計等着手 <p>○令和6年度(2024年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①整備基本設計・実施設計 ②第1期整備工事着手 <p>○令和7年度(2025年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①第1期整備工事竣工(8月) ②第2期整備工事着手 <p>○令和8年度(2026年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①第2期工事竣工
	総合計画	
	3-1- (3) 環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます	3-4- (3) まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます
	基本政策	
51	空港を活かしたまちづくり	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)	
5	<p>新・産業振興ビジョンに基づく取組みの推進</p> <p>以下の3つの基本方針に基づき、様々な施策を展開していきます。</p> <p>(1) 産業の集積をつくる (2) 地域経済の好循環をつくる (3) まちに活力とにぎわいを生み出す</p> <p>(主な目標値)</p> <p>①事業所数 平成28年(2016年) : 13,044件 ⇒ 令和7年(2025年) : 現状維持 ②事業所の付加価値額 平成28年(2016年) : 6,080億4,000万円 ⇒ 令和7年(2025年) : 増加 ③産業誘導区域内の工場・運輸系事業所床面積 平成28年(2016年) : 699,136㎡ ⇒ 現状以上(立地適正化計画進捗確認)</p>	<p>○令和5年度(2023年度)</p> <p>①さらなる企業立地の対象業種・対象エリアの拡大に向けた検討を行います。</p> <p>②庄内駅前庁舎での起業・チャレンジセンター運営開始。子どもアントレプレナー事業や土業による相談事業などを行います。</p> <p>③デジタル地域ポイントの充実(民間資金の活用、チャージ機能搭載等)</p> <p>○令和6年度(2024年度)</p> <p>①企業立地拡大を促進する施策を実施 ②若者の起業支援につながる事業を展開 ③デジタル地域ポイントの仕組みの充実</p>	
	総合計画		
	3-5- (1)	地域産業を支援し、投資・消費・働く場が活性化するための体制をつくりま	
	基本政策		
	21 民間企業の災害対応支援	50 デジタル地域ポイントの導入	
	55 域内産業の活性化	56 スタートアップ企業等への支援の充実	
6	<p>都市農業の振興</p> <p>(1) 都市農業振興基本計画に基づく取組みの推進</p> <p>農業に親しむ機会の確保と豊中農業への一層の理解の促進等を図りながら、新たな担い手の発掘・育成にも取り組み、都市農地の保全と活用につなげます。</p> <p>(主な目標値)</p> <p>①定期開催朝市・直売所 令和元年(2019年) : 6か所 ⇒ 令和6年(2024年) : 7か所 ②市民農園 令和元年(2019年) : 21か所 ⇒ 令和6年(2024年) : 26か所</p>	<p>○継続して実施</p> <p>計画期間 : 令和11年度(2029年度)</p>	
	総合計画		
	3-1- (2)	自然環境や都市のみどりを身近に感じられる取組みを進めます	
	基本政策		
	59 地産地消の推進		